

【監督会議資料】

第34回 男女優勝（安藤旗）小学生バレーボール大会 競技・運営における留意事項

【新型コロナ感染対策】

本大会は、鹿児島県小学生バレーボール大会開催のガイドライン（最新版）に基づき実施する。

1. 入館（IDカード・検温・手指消毒）・退館

(1) 体育館へ入館するすべての方はIDカードを所持していること

IDカードを持っていない方の入館はできない。体育館内ではIDカードを常時付けること。

入館する際は、IDカードを掲示し、手指消毒後、入館すること。

(2) 体育館へ入館できる人数は、各チームの選手（登録選手最大12名）、ベンチスタッフ3名、応援者等30名までとする。また、帯同審判も入館可能とする。

※新型コロナウイルスの感染状況次第では、応援者の人数を変更する場合がある。

(3) 応援者と試合、審判に関係ない選手は、体育館を出ること。（退館）

ただし、指導者（当日ベンチ入りする指導者）は、本部が指定する観覧席にて試合観戦可能とする。

2. 換気

体育館の窓、カーテン、暗幕は、可能な限り、終日開けっ放しとするが、日差し、雨天、強風など、試合に影響があると判断した場合はカーテン、窓を閉める。また、試合間、昼食時間等に定期的な換気を行うこと。

3. 昼食とその他飲食

試合進行の状況を見て昼食時間を設ける。

昼食場所については、指導者及び選手は体育館内の応援席を使用可とする。その他の方は不可とする。

※チーム関係者及び選手は体育館内（応援席）の椅子に座り、密をさげ、食事中の会話は禁止とする。

※また、応援者は、会場内、外で集まっの飲食は行なわないこと。

4. ベンチ（椅子）の消毒（消毒剤、拭きものはチームで準備すること）

ベンチ（椅子）は、コートチェンジ及び試合終了時に消毒してから移動・撤退すること。

また、2階の応援席を使用した場合、応援席の消毒を行い退館すること。

5. 競技エリアへの入場・退場

試合が終わったら速やかに競技エリアから退場すること。（試合終了後、競技エリア内での指導者による**指導、指示を行わないこと**。）

次の試合チームの競技エリアへの入場は、前の試合のチームが競技エリアを退場したあととする。

フローア係（競技員等）の指示に従うこと。

6. マスクの着用

試合中及び公式練習の選手以外は、ベンチスタッフ、ベンチ及びアップゾーンの選手は、マスクを着用すること。※試合中のマスク着用の判断はチーム判断とする。

7. 応援方法

ベンチ、アップゾーンの選手及び観客席の応援は、拍手のみとし、声を出さないようにすること。鳴り物も禁止とする。

8. 体調不良者の対応

大会期間中に体調不良者がでたら本部に連絡をすること。

※ガイドライン及び大会運営本部に相談すること。

【開会式・閉会式、表彰】

1. 開会式・閉会式・・・実施しない。

2. 表彰及び表彰式・・・優勝、準優勝、3位までのチームをコート表彰とする。

3位決定戦は行わない。準決勝で優勝チームに敗退したチームを3位とする。

【試合、審判時の留意事項】

1. 試合間

試合間は10分間とする。その都度本部より放送にて連絡する。

2. 公式練習

公式練習は全試合実施する。

3. 試合球

各チームから試合球を **2個**出すこと。(女子 モルテン 男子、ミカサ)

(監督会議後、空気圧測定をするのでキャプテンは本部へボールを持ってくること)

4. 試合開始、終了時の握手・挨拶

対戦相手チームとの、試合開始、終了時の握手はしない。

選手は、エンドラインに間隔をあけて整列し、エンドラインで挨拶してベンチへ戻る。又はコートに入る。

※試合終了時、相手、自分のチーム(応援者)への挨拶は不要とする。

5. ボールの消毒

試合中のボールは、**ワンラリー毎に交換する**。(副審が配慮願すること。)

※ボールの消毒係を配置して消毒と交換対応を行う。**(消毒剤、拭きものは審判チームで準備すること)**

6. ユニホーム

選手は定められたユニホームを着用し試合を行うこと。

混合については、男女でユニホームのデザインを分けることが望ましい。又は、ソックス、ハチマキなどで男女がわかるようにすること。

7. ベンチスタッフ(マナー・服装・胸章の提示など)

(1) ベンチスタッフは、ベンチでのマナーを守ること。(暴言・暴力が無いこと)

※暴力などを見かけた場合は、退場処分とする。

(2) ベンチスタッフは密にならないように座ること。(椅子は5脚、間隔をあけて準備する)

(3) ベンチスタッフの服装は統一し、短パン類や襟無しシャツの着用はしないこと。

シャツの裾はズボンの中に入れること。

試合中の“うちわ”の使用やタオルの首、肩かけは禁止とする。(県小連服装規定の遵守)

(4) ベンチスタッフは、全員がチームスタッフとしてMRS登録をしていること。

(5) ベンチスタッフは、規程のマークを左胸に提示すること。

監督は試合中、指導者講習修了証を胸部に提示すること。ただし、指導者講習を未受講の場合は、**確約書を提出すること**。

8. ワイピング

競技エリアが汗でぬれた場合、原則、コート内の選手によるワイピングで対応すること。

モップを入れるかどうかの判断は、主審、副審の判断とする。タイム、セット間のモップ使用は可能とする。

9. 審判団及び補助員

(1) 審判の順番は、組み合わせ表に記載する。

審判を行うチームは直ちに準備願すること。また、相互審判の場合、記録、線審や補助員の配置は各チームの指導者で協議し決めること。

(2) 各チームは、**記録2名、線審4名、点示2名、ボール消毒係2名**の審判団、補助員を出すこと。

ボール消毒係は、記録席の後付近でボールの消毒をすること。

(3) 審判(補助員含む)をするチームは、線審のフラッグ、記録の筆記用具はチームで準備すること。

記録、線審、点示は原則選手で対応することとしますが、選手が足りないチームは、指導者が手伝えること。それでも足りないチームは、応援者が手伝えること。

(4) 主審・副審は相互審判とする。

JVA公認審判又は県小連公認審判員等の有資格者で実施すること。

ただし、有資格者が不在の場合、県公認審判同等の方でも可とする。

(5) 主審・副審は、規定のワッペン及び規定の服装を着用すること。

(6) 審判団は、審判中は**マスク着用**とする。

【体育館施設の使用について】

1. **喫煙**は定められた場所で行うこと。

2. **履物**は体育館の玄関(靴箱)に置かないこと。シューズケース等に入れてチームで管理すること。

3. 施設内のコンセントの利用や、施設内及び施設周囲でコンロなどは使用しないこと。

4. **トイレを利用**する場合はスリッパに履き替えること。トイレ内におむつや生理用品を流したり、トイレが詰まるような行為は行わないこと。

次の方が気持ちよく使えるように履物をそろえるなど心がけること。

5. 器具、備品類の破損は実費での負担で弁償すること。

6. **弁当**を業者に頼まれた場合は、受け取り及び弁当空の対応はチームで責任をもって実施すること。

7. 忘れ物がないようにチームで責任をもって備品管理すること。